

## 2022年度 本部 事業報告書

### 1、理念

一人ひとりの意欲を大切に、たくましく、かしこく、優しく育つことを願いながら、発達に弱さを持つ子どもも含め、0歳児から学童、大人まで共に育ち合う共同の子育てを目指します。

### 2、2022年度の目標

現場職員が福祉事業に専念できるよう、事務の省力化・効率化を図る。  
長期的に安定した社会福祉事業を実施するため、資金面の体制強化を進める。

### 3、本部の実施事項

#### (1) 法人運営

方針：社会福祉法・定款に基づき、適正な法人運営と意思決定の手続きを行う。

##### ・理事会・評議員会の開催

定時評議員会	年1回	実施
臨時評議委員会（書面開催）	年1回	実施
理事会	年4回	法人 事業報告書のとおり

##### ・監事監査の開催

定時監事監査 令和4年5月26日 実施

##### ・執行理事会議の開催

月1回 実施

##### ・事務担当者会議の開催

月1回 実施

#### (2) 会計管理

方針：経理規程に基づき、会計士の指導を得て、適正な会計管理を行う。

- ・概ね3ヶ月毎に実績より予算の見直しを行い、年3回の予算修正を行った。

#### (3) 労務管理

方針：就業規則に基づき、社会保険労務士の指導を得て、適正な労務管理を行う。

- ・入職者7名、退職者7名、労災保険適用1名の各手続きを、社会保険労務士の指導により行った。
- ・新型コロナウイルスに伴う、小学校休業等対応助成金の申請（R4.1～2月分、5月分、7～9月分）を年3回行い、助成金を受領した。
- ・令和4年4月よりICTシステム（パステル）を活用した出退勤管理を導入。勤務報告書もパステルのデータを元に作成できるようにし、勤務報告書作成に係る工数を大幅に削減した。
- ・就業規則の改訂を行い、時間単位有給休暇制度を導入し、職員の働きやすさ向上に貢献した。

#### (4) 施設・環境・備品の管理と整備

方針：各事業所の要望・整備計画に基づき、計画的な整備を実施する。

- ・恵の実保育園の借地（97番1、98番1）について、土地購入手続きを行い、基本財産に追加した。（8月完了）

- ・ 赤い羽根共同募金の助成をいただいて、恵の実保育園で非常用発電設備を購入した。(12月完了)
- ・ 法人車両については法定点検・整備とタイヤ交換、ガラス交換、ドライブレコーダーの導入を行った。
- ・ 各事業所の事務職員が中心となり、ICTシステム(パステル)を活用した、メール配信やアンケートの実施等、事務効率化及び印刷コストの削減を推進した。
- ・ 恵の実っ子クラブで、114番地・115番地の土地の賃貸借契約を新たに締結した。

#### (5) 各種届出・報告の実施、情報公開

方針：法人として公開すべき情報を期日までに正しく公表・報告する。

- ・ 財務状況入力システム、障害福祉サービス等情報公開システムへの報告。
- ・ 定款変更の認可申請(基本財産追加)
- ・ 保育園変更届出(施設の用途変更、運営規程の変更)
- ・ 障害福祉施設の自己評価、事業報告書、財務諸表等の公表(ホームページ)

#### (6) 所轄庁による監査

方針：東三河広域連合監査、愛知県健康福祉部による監査対応、改善事項の対策

- ・ 愛知県健康福祉部監査 令和5年1月20日実施  
文書指摘事項について改善済み。

#### (7) 調査研究

方針：研修の受講や他法人の情報収集、書籍等により、社会動向、法制度改革の流れを調査研究することで、理事会の意思決定をサポートする。

- ・ 社会福祉法人会計予算策定セミナー 受講 令和5年1月18日(吉澤)